Community & Friend

2021 年 4 月号

有限会社アルファー
大阪府高槻市氷室町 4-13-3
吉田 清一郎

平素は、弊社商品にお取り組み頂き、
まことに、ありがとうございます。
月間通信 4 月号をお送り致しました。
何卒、よろしくお願い致します。

米国に住み、流通コンサルタントをされている稔子・ウイルソン女史から、なんでも彼女の義理のお姉さんが尊敬しているお医者さんが本を出版したから、紹介する とこの書籍のメールを頂きました。

阪大病院のお医者さんが、漢方・中国医学を志されているとの事で、直ぐに本の内容が想像つき、amazon に発注すると、翌日手元に届きました。

私が実家の手伝いをしていた頃は、郵便で取次店に発注し早くても 1 週間は掛かりました。amazon は小豆島でさえ土曜日にクリックして日曜日の午後に届いたこともあります。どんな仕組みになっているのかは知りませんが、これではとても勝ち目はありません。これで街の本屋さんが地域の方と、本を仲立ちに繋がることは無くなりました。私の父親が、どう見てもアカデミックな人たちと、普通に話していたあの場面が、今は昭和のロマンティックな情景のセピア色に霞んでしまいました。たまに梅田の蔦屋さんに行くと、相変わらずの人出でみなさん思い思いに過ごされ、またそれぞれの売り場におられ、書籍という文化は変わらずとも、アプローチの仕方は時代と共に変化していくのかも知れません。

先日、今年の初めにアップルストアーで購入した娘の iphone が充電ケーブルとイヤフォンケーブルの差し口の接触不具合で、切れてしまう事がしばしばある問題を、アップルストアー心斎橋店に問い合わせると『予約をして来店』との事で仕方なく出かけました。いずれも貴店で同時に購入した製品だと言うと『ありがとうございます』と言うが、不具合が生じていると言っても『調べてみます』としか言わない。不良ではなく不具合で、100%繋がらない訳では無いので、確率的に想像した通りその店で接続してみると繋がってしまう。『5 度試して繋がった』のだから『正常』だと言う。だからと言って帰る訳にも行かないので、2ヶ月近く使用して改善されない不具合を 5 度の確認で『事実なし』と結論付けられても仕方がないと言い、結果としては『代替機を出し、修理センターに依頼します』となった。それで、不良との結論でも、また『取りに来てください』と言う。初期不良の製品を販売しても、自分たちは動かず顧客を動かす事が会社の決まりだと説明する。

私も、特に顧客にへつらう事はしませんが、道理に

従って判断はしているつもりです。世界一利益を上げている企業の顧客に対する姿勢から、彼らの世界観が垣間見え、経済で世の中を良くすることは困難に思えました。スティーブ・ジョブスの製品開発の目的が、ひとの暮らしの次元を進化させるところにあったとすれば、その後に続く人たちの思想が、如何に大切かを思い知る切っ掛けとなった次第です。

便利に効率良くすることで経済に行き着いたビル・ゲイツ氏がブレーン・ウォッシュを受けてウイルス・ファンデーションに関わるよりましかと思いますが、一党独裁によって失脚させられる馮雲氏の悲哀も含め、戦いにも参加できない犬の遠吠えですが、何処に向かうつもりなのかを明確にしておかないと、心中穏やかに暮らす事は難しいのかも知れません。

さて、そんなことは良いのですが、肝心の本です。もう３０年ほど前に、米国で西洋医学の中に中医学を取り入れた医療が盛んになって来たという内容の記事

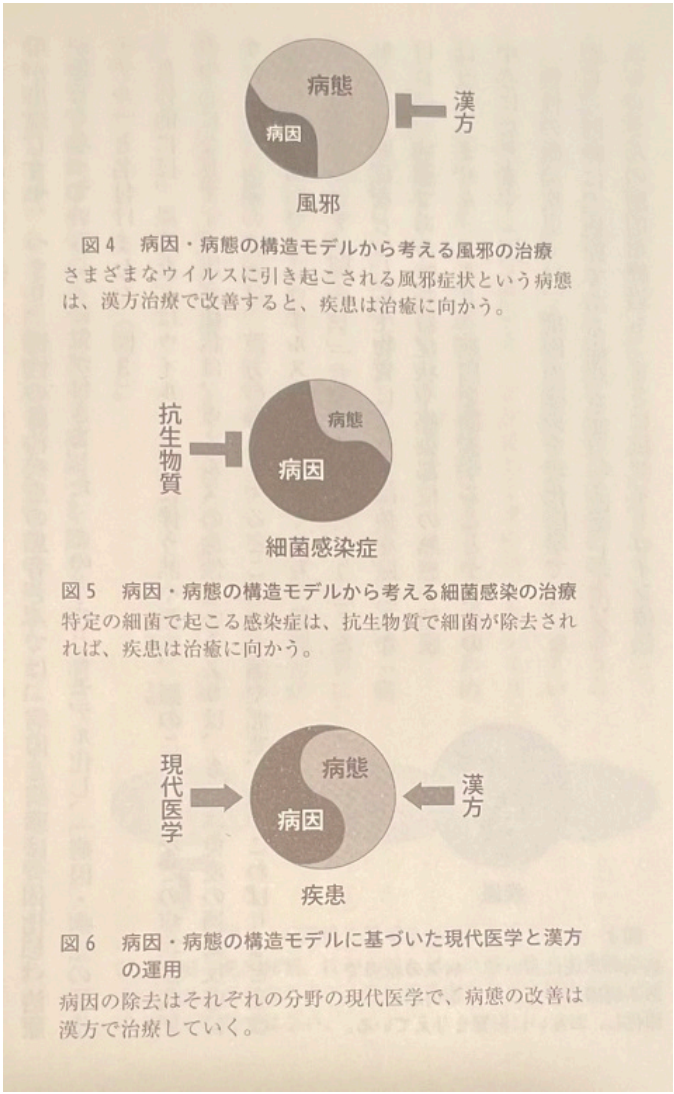

図４　病因・病態の構造モデルから考える風邪の治療
さまざまなウイルスに引き起こされる風邪症状という病態は、漢方治療で改善すると、疾患は治癒に向かう。

図５　病因・病態の構造モデルから考える細菌感染の治療
特定の細菌で起こる感染症は、抗生物質で細菌が除去されれば、疾患は治癒に向かう。

図６　病因・病態の構造モデルに基づいた現代医学と漢方の運用
病因の除去はそれぞれの分野の現代医学で、病態の改善は漢方で治療していく。

にふれた時、『人は必ず正しい方向に必ず流れていく』と思ったものでした。昔、自然食品の方が西洋医学を目の敵のように、不理解のまま批判的なことを述べておられる機会によく接しましたが、西洋医学も進化をして来て、今は単純に西洋医学という言い方が適切ではなく、現代医学と呼んでいる、とこの書籍に書いてありました。その通りだと思います。西洋医学であろうが中医学・東洋医学であろうが、地球を西に進んでも、東に進んでも、目的が同じなら同じ場所に到達するはずで、私は其処が正しいところと感じています。

先日、毎週会うカナダで生まれ育ちの Jewish に『滅私奉公』という日本語の話しをしました。これはなかなか難しい概念だったようです。彼は２週間越えでこの事について理解しようと考えています。彼は Religion(宗教) として捉えようとします。私は Gene(遺伝子) を中心とした Science(科学) の話しだよと言うと、益々訳が分からないって顔をしていました。私も説明に窮してしまい、『自利利他』の精神を如何に伝えるかで思いついた英語が 相手に礼を言われた時に返す慣用句の It's my pleasure でした。この英語は、釣りバカ日誌のハマちゃんの奥さん、ミチ子さんのセリフでした。これで『滅私』のイメージが伝わりそうな気がします。自己の存在を社会に対してどのようなポジショニングにするかという事で、決して自分が犠牲になるという事ではありません。簡単に社会と言ってしまいましたが、『奉公』の公は社会というより地球上の自分以外の、すべての存在によって生かされている自己の対象というところに落ち着いています。

ここまで言うと、今度は Philosophy(哲学) だと言い、暮らしから遠退いたイメージになってしまいました。確かに哲学には違いないのですが、哲学に昇華する前に、形而下的な暮らしの法則があるような気がするのです。

この事をこの書籍は教えてくれそうに思います。

有限会社アルファー
吉田清一郎